

## ○令和2年度 教育事業

### 「集団登山指導者研修会」(R2.9.5(土)～9.6(日))



#### ◆目的

青少年の集団登山の教育的価値に関する理解を深め、活火山対応を含む安全な指導についての基本的な知識を身につける。

#### ◆参加実績(定員20名)

参加17名

・教員	4名
・社会教育関係職員	4名
・一般	9名

#### ◆プログラム

- ① 講義「山の天気・活火山の防災」・・・(90分)  
気象予報士、北海道防災教育アドバイザー 森山 知洋 氏  
標高の高い山特有の気象変化、人体に受ける影響などについて関連する資料を使い説明し、最新の情報を集めて、天候を予測することの大切さを学んだ。
- ② 講義「集団登山の意義・安全管理」・・・(170分)  
北海道教育大学岩見沢校非常勤講師 日下 哉 氏  
登山の魅力や指導者として参加者の体調や経験値、登山道の特徴などから、最適なアドバイスや判断をすることの大切さを学んだ。天気図の作成も行った。
- ③ 講義「登山の準備、山歩きのコツ」・・・(75分)  
北海道教育大学岩見沢校非常勤講師 日下 哉 氏  
山特有の気象現象や、危険回避の適切な判断のために必要な知識について学び、危険を回避するために情報を活用する意識を高めた
- ④ 講義「集団登山の実際」・・・(405分)  
岩見沢教育大学 非常勤講師 日下 哉 氏  
富良野岳にて、実際の集団登山を体験した。歩くペースや休憩の摂り方など、前日の講義の内容と関連させることで、集団を引率する場面を想定しながら、安全に登山活動を行うためのスキルを学ぶことができた。



◆事業運営・企画のポイント

- 広報は上川管内の小中学校に加え、近隣の空知管内にも行い、参加者も増えた。ただ道内の参加者数の底上げが必要と思われる。
- 2日目の登山では、朝食がパン弁当のため、レストラン食より時間短縮となりスムーズにプログラムを終えることができた。

◆参加者の声

- 富良野岳登山の活動を通して、各ポイントでの安全管理に関する説明がわかりやすかったです。大変勉強になり、実際の指導場面で活かすことができる知識が増えました。
- 天気にも恵まれ、楽しく登山することが出来ました。職員の皆さん対応も満足することが出来ました。
- 指導する側になるということは、情報を活用する力や知識を身に付ける重要性を再確認できました。講師の森山さんや日下先生から専門的な知識を教わり、とても有意義な時間になりました。今後の野外活動の指導場面で活かしていきたいです。

◆事業の成果と課題

- ①講師の永年の指導経験に基づいた講義内容によって、集団登山の意義や魅力への認識を深めた。
- ②自然環境下での活動に必要な、気象変化への対応、事前準備や予測判断の重要性について理解した。
- ③演習の登山は天気に恵まれ、指導者目線での演習を行うことができた。



◆事業運営費	合計	130,055 円
講師謝金・旅費・業務委託費		88,964 円
通信運搬費		31,750 円
消耗品費		4,803 円
燃料費		4,538 円

